

スタンドパイプ訓練・・・訓練に参加して、火災発生時もあわてない

住宅火災による死者の多くは高齢者です！ みんなで力を合わせ、一つひとつの小さな備えが、自分も守る盾になる。

6月16日、スタンドパイプ訓練は南消防署の指導で、2,3丁目も含め参加人数41名が殿山市民の森に向かって放水訓練を行い、重い消火栓の蓋もなんとか開けられるようになりました。

(参加者の感想) スタンドパイプ立ち上げの段取りが分かり勉強になった/初めて参加したが、大変良かった/老人、女性の参加が多く、発災時はうまくできるのか不安になった/消火栓の設置位置を知っておく必要がある/一度この体験をしておくことが重要と感じた/良い勉強になった、スタンドパイプのマニュアルが必要だ(東京防災 p190)

(消防士さんから) 消火栓の蓋の開け方上手です/消火栓開栓時サビ水はゆっくり排水すること/スタンドパイプの一連動作(立ち上げ、開栓、ホース接続、ホース伸ばし、放水)はゆっくり落ち着いてやってください。



(写真) 上左：まず集合、訓練開始ご挨拶

上右：「よいしょ」と消火栓のフタを開ける女性

下左：「それっ」と放水開始！

下右：消防士さんからノズルの説明を受ける隊員は真剣